



明治大学
MEIJI UNIVERSITY

明治大学校友会

千葉県西部支部だより

第21号
2025年
夏

発行：明治大学校友会千葉県西部支部

〒279-0003 千葉県浦安市海楽1-3-8

発行人：山中 勇

令和7年の支部活動について

千葉県西部支部 支部長

山中 勇

千葉県西部支部の会員の皆様には、当支部に対し温かい御支援・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度は、各地域支部の実態を把握し、県単位支部としての対応の必要性の有無を確認するため、校友会本部の取組みの一環として、地域支部へのヒアリング調査を実施いたしました。この調査では、地域支部の活動見通しについて、「活動を継続していくことについて課題がある」と回答した支部が3支部ありました。また、活動を継続していくための課題として、「会員の高齢化が進み会員が減少傾向にある」と回答した支部が3支部あり、「年会費未納者が多くなっている」と回答した支部が2支部ありました。

これらの実態及び課題は、多かれ少なかれ当支部管内の地域支部に共通した事柄であると思います。今後においては、校友会本部支部長会に、県単位支部長の会合を持ち、情報共有や相互協力を目指す仕組みとして「ブロック別連絡会」が設置されましたので、ここで得られた他支部の有意義な情報を参考にしながら、各地域支部の活性化に向けた方策を役員会を中心に検討して参りたいと考えています。

なお、この関係では、昨年の我孫子地域支部が主催した明治大学マンドリンOBクラブコンサートの実施に当たり、他地域支部の会員が応援で受付や案内業務に従事いたしました。このような地域支部相互の助け合い・連携も地域支部の活性化、活動量の確保・増加にとって有意義であると感じたところで。

本年度においても、校友会本部が実施する活動に積極的に参加するとともに、会員相互の親睦・交流を図り、地域社会に貢献する活動を進めてまいりますので、会員の皆様のより一層の御支援・御協力をお願いいたします。

令和7年総会は流山地域支部が担当します

日 時 令和7年6月28日(日)
11:30～記念講演会 講師 北野 大 校友会長
12:40～千葉県西部支部第22回総会
13:40～懇親会
アトラクション(応援団による応援紹介)

場 所 ロイヤルガーデン 柏日本閣
JR常磐線「南柏駅」下車 南口より連絡バス

懇親会参加費 8,500円

各地域支部の校友の皆様方のご参加をお待ちしております。

北野会長プロフィール



1942年東京都足立区出身
1965年明治大学工学部卒業
1972年東京都立大学にて
工学博士号取得
化学物質評価研究機構、

淑徳大学教授を経て、2006年4月より2013年3月まで明治大学理工学部応用化学科専任教授、大学院理工学研究科教授
2004年 日本分析化学会技術功績賞受賞。
2006年 環境科学会 学会賞受賞
2010年 環境功労者として環境大臣表彰

浦安地域支部

校友会を考える

気候変動の振れ幅が大きく今年も大雨や猛暑など10年20年に一度の災害級の気候が年中起こりそうな心配です。

昨年からは浦安地域支部の支部長を拝命しました醍醐敦です。

今まで校友会活動は、ほとんどせずに来た私ですが、いきなり支部長になり、戸惑いと共に浦安地域支部の他の役員の皆さん、会員の皆さんに御迷惑をお掛けすることになり大変申し訳なく思っております。

ただ私の大叔父が浦安明大会の発起人の1人である以上その思いを汲み、後を継ぐのも定めと感じ大役を引き受けさせて頂きました。

どこの地域支部も同じですが浦安も会員の高齢化問題が喫緊の課題と感じております。校友会とは校友相互の親睦を図り、母校の発展に寄与する事が目的ですが、会員の裾野を広げる機会を考えると内輪の交流だけでなく、もっと地域との交流や連携をする事によって校友会の存在を地域の皆さんに知ってもらい、そのような活動を明治大学校友会の参加窓口にしたいと思っております。明治大学の卒業生は累計で約60万人もいますので、日本の人口1億2千万人との比率は0.5%、浦安市の人

口は16万人なので比率的には約800人の卒業生がいる計算になります。

その方々に対しどうしたら浦安地域支部へ参加して頂けるかを考察し、趣味の活動や地域貢献など具体的な活動内容をこれから役員の皆さんと協議して、無理のない範囲で最初の一歩を踏み出し地道にゆくりと進んで行きたいと思っております。

また以前開催していたと聞いている浦安地域の慶応大学卒業生の浦安三田会、早稲田大学卒業生の浦安稲門会との三会交流会の復活も出来たら良いなと考えております。

とにかく浦安地域に明治大学校友会の存在を広く知らしめ、1人でも多くの明治大学卒業生に校友会への参加を呼びかける機会を作ることを試みて会員増加の糸口となるように活動して行きたいと考えていますので、皆さんのご協力をよろしくお願い致します。

(昭和53年法学部卒 醍醐 敦)

松戸地域支部

私の半世紀

昭和54年5月に、明治大学松戸学生会白雲会が発足しました。現在の校友会の前身の様な会でした。私はこの会の初代幹事長を務めました。

故伊藤勇三明治大学事務局長を中心に、昭和56年5月には松戸市民劇

場落成記念に、明大マンドリンクラブコンサートを開催しました。明大の教授をお招きしての市民公開講座、会員相互の親睦のための旅行、スポーツ大会等も実施しました。当時の宮間松戸市長に会報「松明(たいまつ)」の題字を書いて頂きました。

私は、高校(千葉県立成東高校)、大学と野球をやってきました。昭和49年は銚子商業、昭和50年は習志野高校が夏の甲子園で優勝しましたが、県大会では、ピッチャーとしてその2チームに延長戦で惜しくも負けました。

昭和51年に明治大学に入学、野球部に入りましたが、すぐ肩を壊し、バットインングピッチャー、風呂当番、食事当番で終わりました。

在学中に教職社会科の免許を取りました。教員として高校野球の指導者となるのが夢でしたが、採用試験に合格しませんでした。

卒業後は巢鴨信用金庫に42年間お世話になりました。巢鴨信用金庫では軟式野球でしたが、西武ドームでもプレーしました。30代で現役を引退し、その後は、地元松戸のソフトボールの指導をする事になりました。そこには、その後西武ライオンズで活躍する涌井投手もいました。

日本ソフトボール協会公認審判員の資格を取り、現在も大会のお手伝いをしています。

成東駿台会(成東高校から明大進学)には元明大野球部監督の荒井信

久氏もいます。

最強の房総球児高校野球を語る会は、同世代で甲子園を夢見た学校の枠を超えた高校球児の会として、毎年千葉県代表チームにボールを寄付しています。

会員には、ヤクルトスワローズのゼネラルマネージャーの小川淳司氏もいます。私は、この2つの会の幹事をしています。

野球を愛し、野球に感謝し、母校明治大学に恩返しをし、旧交を温めながら校友会の活動に参加出来れば幸いと思っています。

(昭和55年政経学部卒 長島一頭)

我孫子地域支部

マンドリンOB倶楽部

演奏会開催報告

令和6年11月30日(土)に「第10回明治大学マンドリンOB倶楽部 能登半島復興チャリティ演奏会」を、我孫子駅から徒歩1分程の「けやきプラザ・ふれあいホール」で開催しました。演奏会は「昼の部」と「夕方の部」の2回演奏の形を取りました。

演奏会当日は、千葉県西部支部の各地域支部の方々が応援に駆けつけて下さり、終日演奏会のスタッフとして協力して頂きました。昼の部の開始が、11時45分でしたが、10時過

(3) 千葉県西部支部だより

ぎ頃には既に一番乗りのお客様に来て頂きました。

「ゴットファーザー(愛のテーマ)」の演奏が始まり、いよいよ演奏会「第一部」の始まりとなりました。進行の途中、会場のお客様が演奏曲目に合わせて一緒になって歌を歌うコーナーがあり、演奏音楽とお客様の歌う声と一緒に会場で響き渡りました。まさに、音楽を通して演奏者とお客様の一体感が感じられた瞬間でした。

「第二部」では、演歌ギターの第一人者であるギタリストの斉藤功氏をお迎えし、古賀政男傑作集他、昭和の演歌歌謡ファンにはたまらなく嬉しい曲の演奏となりました。後半には、美空ひばりの「悲しい酒・みだれ髪・影を慕いて」の演奏が続ぎ、会場が最高潮に盛り上がり、演奏会終了となりました。その後、アンコールの拍手が鳴り響き、「湯の町エレジー」そして「明治大学校歌」の演奏で幕が下りました。

演奏会終了後の集計で、来場者数は、746名(昼の部・419名、夕方の部・327名)となりました。また、アンケートの回収枚数は373枚となり、入場者数に対するアンケートの回収率は、50%でした。アンケート集計結果では、「非情に満足・満足」と答えて頂いた方の割合が全体の9割以上で、来場頂いたお客様に大変ご満足頂いた結果となりました。

今回は、明治大学OBの結束力を強く感じると共に、明治大学校友会の素晴らしい素晴らしさを体験出来た素晴らしい演奏会であったと思います。千葉県西部支部の皆様方のご協力に、厚く御礼申し上げます。尚、剰余金の一部を「能登半島地震復興支援」他に、寄付させて頂きました。

(昭和59年工学部卒 阿部美智夫)

柏地域支部

わが徒然草



楽しい、嬉しい、面白い、そんな高齢者の生活を目指して日々キョロキョロし、感謝しながら元気に生活しています！

1967年明治大学法学部を卒業して、57年が経ちました。たまたま合格した司法書士資格をいかして、脱サラをして司法書士事務所を開いた1973年から51年が経ちました。仕事も営業も修業を全くしないままでした。お客さんが来てから、文献で勉強し、未経験の仕事は法務局にいつて教えてもらいながら、今日

を迎えることができました。周りの人々に感謝感謝の毎日です。

また、事務所へ来ていただいた方には、帰るまでに1回は腹の底から笑って帰っていただくことをモットーとして参りました。

そんな生活の中で、司法書士には定年はないけれど、仮に60歳を定年と仮定した場合、そこから趣味を始めるのではなく、60歳の頃には趣味もある程度のレベルに達していたいと思つて、50代半ばから趣味を探し始めました。

そこで始めたのが、囲碁と講談、海外一人旅でした。囲碁は勝つても相手が悔しがる、負ければ自分が悔しい。これは私には精神衛生上よろしくないと感じて、日本棋院のペーパー3段を得た段階で止めました。

海外一人旅は1999年ニューヨークを皮切りに2018年のサントペテルブルグまで毎年出かけましたが、2019年はコロナの世界的流行もあつて終わりにしました。今残っているのは講談だけです。1997年12月の第26回公演会を皮切りに2024年12月の第78回の宝井講談修羅場塾公演会(演目「北里柴三郎」)にまで50回出演しました。

また、70歳のとき、世の中には自分の知らないことがなんと多い事かと気付き、その無知を少しでもカバーするためにはどうしたらいいか、と考へて、明大校友会の山田秋彦さんに作ってもらった「ブログ」をつかつ

て、毎日新しいニュースが載っている「新聞の社説やコメント記事」をワードで読み写しをして、それをブログに掲載してみようと思ひ立ちました。2013年4月から始め、今日までほぼ毎日続いています。ブログ名は「平和憲法を世界へ、未来へ」です。毎日、何人か訪問して記事を読んでもくれている。誰かが訪問してくれることが、日々の楽しみにもなっています。

これからも、毎日のドライブや散歩や会合で、面白いものをさがしながら、まわりの人々に感謝しながら、楽しい老後を送りたいと思つていきます。

(昭和42年法学部卒 佐々木利夫)

船橋地域支部

創立21年目を迎えて



昨年は能登半島の地震・北陸各地の大震災に始まり、酷暑と温暖化による寒暖差の大きい日々が長く続きました。

船橋地域支部は創立20年となり、社会貢献の講演会を加えて、校友間

だけでなく地域との交流を通してより身近で地域に開かれた校友会へと校友の皆さまと取り組みました。

創立21年を迎えた今年度は「フィードバック」(先を見据えて「今後どうすべきか」を追求していくこと)を具体的に考え、実行に移していきます。

そのような中、社会貢献活動にご協力いただいていたホースセラピー乗馬体験会が厩舎側のご都合で開催できなくなり、チャリティーマンドリンコンサートの開催も現実的に開催できない状況となりました。



親睦旅行 鬼怒川温泉駅前にて

校友会各支部・地域支部においても同様の状況かもしれません、当支部も会員の高齢化と新規会員、特に現役世代の入会が少なく維持だけで精いっぱいというような現状にあります。今年度も例年2回の麻雀大会・ゴルフ会に夏季親睦会・忘年会・親睦旅行・明早ラグビー観戦・

女子会・ナイター競馬観戦と年4回の社会貢献講演会などに会員の皆様と取り組みます。

(昭和55年商学部卒 糸井大恵)

市川地域支部

就任挨拶とマンドリン
コンサート御礼

昨年の地域支部総会で支部長に選任されました鷹見秀昭と申します。

1981年に政経学部を卒業し、現在66歳、現役で勤務しております。

学生時代は白石四郎先生のゼミで国際経済学を学び、サークルは夏山中心の自然愛好会という同好会に所属していました。どちらも今は存在しません。

就任と同時に、今年2月23日、日曜日に開催致しました明治大学マンドリン倶楽部第3回市川チャリティーコンサートの準備で、8か月間があったという間に過ぎました。お陰様でコンサートは1700席が満席になりました。皆様に感動を与える事ができました。これも各地域支部の皆様のご支援とご協力があったからこそだと感謝申し上げます。収益金については教育、福祉団体への寄付をさせていただきました。成功裡に終わったのは、実行委員31名がお互いに力をあわせ、前に向かって準備した成果だと感じます。

まさに明治大学の絆の強さの賜物です。



明治大学マンドリンコンサート

さて、今年度は昨年度できなかった事を実行していきたいと思っています。

一つ目は、新会員拡大です。マンドリンコンサートをきっかけに校友会に興味を持った校友も少なからずいます。また連合父母会様の皆様とも知り合うことができました。このような繋がりを生かして、どの支部でも課題の若手(50代、60代)、女性の会員化を中心に進めます。

二つ目は同好会、クラブ活動の活性化です。現在当支部にはゴルフ同好会とカラオケ同好会がありますが、参加メンバーが限られています。かつてはハイキング同好会、料理研究会等がありました。「好きを応援する」をテーマにいくつかクラブを新設して、総会・新年会以外の交流の場を増やします。

また、市川地域支部の役員はほとんどがまだ仕事をしています。仕事と両立ができる様、程よい活動を実行していきたいと思っています。

明治大学で学んだ、北島先生の「前へ」、島岡御大の「何とかせい」「人間力」。これらの言葉は、私の人生の中の色々な場面で力になりました。困難にぶつかったとき重要な判断をしなければならぬ時、これらの言葉に力を頂きました。

明治大学は入学したときは何となく入学ですが、卒業するときは大好きになる大学と言われています。そんな明治大学の校友であることに誇りを持っています。2031年に明治大学は創立150年を迎えます。

市川地域支部も微力ですが、明治大学の名声を高めるため前へ進みます。

(昭和56年政経学部卒 鷹見秀昭)

流山地域支部

片肺飛行の流山
無事着陸予定

24年度流山地域支部では新年度より広井支部長・川根支部長代行・佐藤幹事長の体制でスタートいたします。

23年12月に手術をなさった広井支部長はその後体調が思わしくなく、地域支部活動に参加できない状態です。

(5) 千葉県西部支部だより



美味な天ぷら蕎麦 (うどん)

した。その広井支部長をサポートするために川根支部長代行(この役職は暫定的なもの)といたしました。が、春過ぎから体の痛みに悩まされ、結果として佐藤の片肺飛行状態での運営となりました。しかし、他の役員による協力がありましたので、1年間の地域支部行事を無事遂行することができました。

7月と9月の麻雀大会(西部支部合同)では優勝者を輩出することができ、12月3月のゴルフ大会(西部支部合同)には新規参加者や女性の参加もあり、9月の恒例バスハイクでは見学個所の選定(お金のかからないところ)によって昼食への費用配分が可能となり、美味しい天ぷらそばが食べられて、参加者に高評価を頂きました。

10月の第3回BBQ大会では、好天に恵まれたものの参加者の諸事情によってキャンセルを多く出してしまったことが悔やまれますが、楽しく開催できました。

12月のラグビー応援&忘年会は早稲田大学に惜敗してしまいました。が流石と思える明早戦に興奮し、夕方の忘年会もしよぼくれることなく盛り上がりました。

2月の新年会は事業計画の中では3月観桜会の行事名でしたが、桜の咲くタイミングが年により大きく異なってしまうので、従前同様に新年会として実施し、無事終了しました。行事としては上記のほか、他地域支部のマンドリンコンサート(2件)がありました。その販売に役員の負担をお掛けする結果となりました。また、流山地域支部単独麻雀大会も3組ではありましたが、会員からの協賛金を頂く中、開催することができました。

特に良かったこととしては若手(と言っても60歳過ぎ)会員が5名増えて積極的に行事に参加してくださったことです。今後の流山地域支部の光です。

来期は新地域支部長体制になると思われますが、6月の流山担当の西部支部総会(流山地域支部も同日同会場開催)を乗り切り、元気に楽しく運営していきたいと思えます。

(昭和54年法学部卒 佐藤雅昭)

西部支部ゴルフ大会を盛りあげて行きましょう

9月6日金曜日に茨城県の阿見ゴルフクラブにて、第2回明大校友会千葉県西部支部ゴルフ大会が開催されました。まだまだ夏の日差しが残る中でしたが、31人の参加者により元気に楽しくプレー終了しました。

各地域支部においても最近参加者の減少傾向があり、ゴルフをしない世代が40歳代を中心に増えていきましたが、若い世代のゴルフ人気も最近の傾向です。今後はゴルフ歴の長い校友と若い世代の校友が一緒の大会で楽しむことができれば嬉しいですね。

ゴルフは老若男女を問わず楽しむ事が出来るスポーツですので、本大会のコンセプトとしてはブレイクの低廉化及び参加費の節約(千円)により、多くの校友が参加しやすい環境を作り開催していかうと考えておりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

またこの西部支部だよりが発行されている頃には第3回大会が茨城県の霞台カントリークラブで実施されている予定です。この大会は現時点で毎年3月及び9月の第1金曜日を開催予定としておりますので、皆様もこの辺の日程を予定しておいていただけますと幸いです。

広い緑のゴルフ場で、毎年校友が笑顔で顔を合わせることができそうです。スコアは気になりますが、明治の校友の笑顔が一番です。

(昭和54年法学部卒 佐藤雅昭)

各地域支部の総会・懇親会

我孫子地域支部	5月10日	けやきプラザ
市川地域支部	5月11日	山崎製パン企業年金会館
柏地域支部	5月18日	ハート柏迎賓館
船橋地域支部	5月24日	フローラ西船
松戸地域支部	6月1日	聖徳大学スカイラウンジローカス
浦安地域支部	6月14日	オリエンタルホテル東京ベイ
流山地域支部	6月28日	ロイヤルガーデン柏日本閣

今年も各地域支部が様々なイベントを用意してお待ちしています。

全国校友香川大会

第60回全国校友香川大会は令和6年9月28日・29日の2日間、「おいでませ お接待の心 うどん県」のスローガンのもと開催され、29日に記念式典が開催され北海道を除く日本全国と海外の大韓民国支部・台湾支部から約760名の校友が参集しました。(千葉県西部支部は県単位支部を除き最多の31名参加)

記念式典では北野校友会長から「大会スローガンにある『お接待の心』は讃岐国香川県が生んだ弘法大師空海の残した心で、香川県支部皆さんの『校友の心に残るおもてなし溢れる大会となるように』との願いからと伺っています。讃岐の魅力を再確認し、『明治はひとつ』の心がさらに理解・共有されることを期待しております」との挨拶がありました。

続いて柳谷理事長からは「明治大学がアジアのトップユニバーシティ、そしてアジアのハブとして未来に輝き続けるために、引き続きのご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます」とのお言葉があり、上野学長からは「皆様の『全国各地』でのご活躍から1都3県出身者が全学生の7割を占める現状。今後は地方出身者を増やし再び全国型大学とならなければならぬ」と力強く語りかけていただきました。

来賓の大西秀人高松市長からの祝辞、尾畑彰一連合父母会会長祝辞の後、万歳三唱が行われ閉会となりました。

休憩をはさみ池田豊人香川県知事・佃昌道高松大学学長による「香川の歴史、文化そして未来」と題した記念講演が行われ、香川ゆかりの平賀源内・菊池寛・壺井栄や名所・旧跡のほか産業についての未来構想等についての話があり、大きな拍手が送られました。

その後会場を移して懇親会が行われ、アトラクション後、全校友が肩を組み圧巻の校歌を斉唱。応援団のエールと大いに盛り上がった中での閉会となりました。

(昭和55年商学部卒 糸井大恵)

今年は福井県で開催します

日時

令和7年9月27日(前夜祭)

9月28日(記念式典)

場所

福井市フェニックスプラザ



私の節目(50年)ホームカミングデー

第27回明治大学ホームカミングデーが、令和6年10月27日に駿河台キャンパスにおいて開催されました。私は卒業後50年ということで節目の特別招待を受けました。またこれを機に合わせてクラブの同期会を行いました。まず、10時からの記念式典では、主催者及び御来賓の挨拶の後、特別招待校友の各代を代表して6名の方が挨拶を行いました。私たち50年の代表は、ラグビーで学生時代及び社会人時代を通して大活躍された森重隆氏でした。同氏は、「学生時代に良き師とめぐり逢い、その時の教えがいまだに忘れることなく実践されている」と話されていました。

式典後は会場内を散策し、出店や学生のパフォーマンスを見学しました。その後和泉キャンパスに移動。明大前駅の改札を出て、周囲の変わり様には大いに驚きました。和泉校舎へと続く狭い道路は歩道のある広い道路に、沿道にあった雀荘やビリヤード場は、ファストフード店や事業所に変わっていました。

往時を懐かしみつつ和泉キャンパスに入り、中を散策。こちらも学生時代の建物はなく、すべて新しく建て替えられていました。

この後、同期会のメンバーは東京駅に移動し、はとバスの屋形船コースに参加。門前仲町から屋形船に乗船し、隅田川に出て、東京の夕景を船上から見ながら食事を楽しみ、大いに親睦と交流を深めました。

(昭和49年法学部卒 山中 勇)

編集後記

千葉県西部支部だより第21号をお届けします。

本号は千葉県西部支部の抱えている課題や各地域支部の活動内容、全国校友大会の様子等を掲載いたしました。

今年の総会では北野校友会長をお招きして 記念講演会を開催します。多くの校友のご参加をお待ちいたしております。

編集委員

服部 真樹(編集長・浦安)

阿部 美智夫(我孫子)

山崎 とよ子(船橋)

佐藤 雅昭(流山)

土屋 成美(松戸)

山田 秋彦(柏)

明村 澄雄(市川)

板橋 純三郎(幹事長)